

カナンの女の信仰

マタイによる福音書一五章21〜28節

女は言った。「主よ、ごもつともです。でも、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」(27)

イエスがある地方に行かれると、カナン人の女性が悪霊に取り憑かれた娘の癒やしを願い出ました。しかしイエスは何もお答えになりません。諦めることなく叫び続ける女性に対し、自分はイスラエル民族の救いのために遣わされたのであって、異邦人には遣わされていないと主は言われました。そのため、ユダヤ人に与えるべき神の恵みを小犬のような異邦人に与えるわけにはいかないというのです。何とも意地悪く聞こえるイエスの言葉です。その主イエスの言葉に答えて彼女が語ったのが今日の聖句です。言われる通り、私はあなたの恵みを受ける資格などない者です。しかし、あなたの豊かな恵みは溢れているではありませんか。その溢れる恵みのおこぼれを私にもください、と彼女は願ったのです。何という信仰でしょう。私たちもまっすぐに主の恵みを慕い求めようではありませんか。